

デイホーム土屋 たいわ		
5領域	支援プログラム	具体的な活動内容
①健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な心身の把握（毎回体温測定・気分把握）</li> <li>生活リズムの安定（定期的かつ定時に通所）</li> <li>手洗いの実施</li> <li>トイレの自立を目指し、トイレが自立できるように支援します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通所日には必ず検温し、連絡帳等により、ご家庭での様子をお伺いし、共有します。</li> <li>通所したら、まずは手洗い、検温、14：30～15：00にはおやつ。16時には「みんなでバイバイ」など</li> <li>トイレの自立を目指し、ご本人にあったトイレの環境を整え、怖くないトイレを提供します。（ご本人の好きなキャラクターを飾るなどの工夫）</li> </ul>
②運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラジオ体操、軽い運動</li> <li>バランスボール、トランポリンなど体幹を鍛えたり、体のバランスを整える運動</li> <li>夏場のプール遊び</li> <li>音楽に合わせて体を動かす遊びや運動</li> <li>体を動かすレクリエーション</li> <li>畑</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝の活動に参加できるときには、ラジオ体操と、軽い体操に参加します。</li> <li>バランスボール、トランポリンの活用</li> <li>夏場にプール遊びをすることにより体を動かします。</li> <li>体を動かすレクリエーション（輪投げ、まとあて、玉入れなど）に参加し、楽しみながら体を動かします。</li> <li>広い畑を耕したり、野菜を育てたり、収穫したりして、体を存分に動かします。</li> </ul>
③認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>天気、気温、日付の把握と確認による感覚・数の認知形成</li> <li>1日の時間帯別活動を示すタイムテーブルの確認による時間の認知形成</li> <li>粘土、スライムによる物質の変化と感覚の認知形成</li> <li>折り紙による感覚の認知形成</li> <li>制作活動、おやつ作りによる物質の変化と感覚の認知形成</li> <li>小集団でのゲームでの適切な行動形成、認知の偏りの配慮</li> <li>季節の変化への興味などの感性形成のための外出</li> <li>夏場の水遊びにより感覚刺激</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝の会では、日付、天気、気温を確認します。</li> <li>朝の会で、今日一日の流れを確認します。</li> <li>粘土、スライム、ビー玉などを通して、感覚遊びをします。</li> <li>折り紙で色を学びます。</li> <li>制作活動、おやつ、折り紙を通して、どのような順番で、どんな風に形が作られていくのかを体験していきます。</li> <li>ゲームなどを通して、ルール作りやコミュニケーション、仲間づくりを学びます。</li> <li>季節を感じられる行事、園芸などを通して、季節を体感します。</li> <li>散歩、外出、ドライブを通して、季節の移り変わりを体感します。</li> <li>水遊びを通して感覚を刺激します。</li> </ul>
④言語・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝の会、はじまりの会で今日の気分・気持ちをプレゼンテーションして言語表出・受容</li> <li>帰りの会で活動振り返りと気持ちをプレゼンテーションして言語表出・受容</li> <li>個別または小集団での障害の特性に応じた読み書き</li> <li>ルールなどを絵や絵カードを使って視覚化</li> <li>各行事での司会を通して言語表出・受容</li> <li>各場面で、支援員が本人の気持ちを汲み取った発言を代弁するようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝の会、はじまりの会、帰りの会で、自己紹介や挨拶をしたり、やってみたいこと、やってみて楽しかったことなど、自分の言葉で話す機会を持てるようにします。</li> <li>個々に応じたプリント学習に取り組んでもらいます。</li> <li>学校で使っている教材、持参した教材を使って、学習面へ取り組んでもらいます。</li> <li>ルールについて説明したり、守ることができるよう、場面場面で必要に応じて伝えていきます。</li> <li>個々に応じて、絵カード、絵などを使っていきます。</li> <li>各行事やレクリエーションの場面で司会をしたり、感想を言ってもらい、また、自分の気持ちを伝えることができるようにします。</li> <li>各場面で、本人が伝えきれない表現や伝えたいことは、支援者が本人の気持ちを汲み取り、代弁するようにします。</li> </ul>
⑤人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>見立て遊び、つもり遊び、ごっこ遊びの組み合わせ</li> <li>生き物のお世話をすることで、自分の役割を知る。</li> <li>一人遊び、並行遊び、連合的な遊びの組み合わせ</li> <li>役割分担のある遊びなどの協同遊び</li> <li>ルールの理解が必要な遊びや集団活動</li> <li>イベントなどを通じた地域との交流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ぬいぐるみや人形を使ってのごっこ遊びを使って社会性を学んでいきます。</li> <li>生き物のお世話をすることで、役割を学んでいきます。</li> <li>ご本人が好きな遊びだけでなく、みんなで取り組める遊び、活動を通して、ルールの理解や協力して取り組むことを経験していきます。</li> <li>地域のイベントに参加したり、デイサービス利用者の高齢者の方と触れ合うことで、地域の一員としての役割を学んでいきます。</li> </ul>